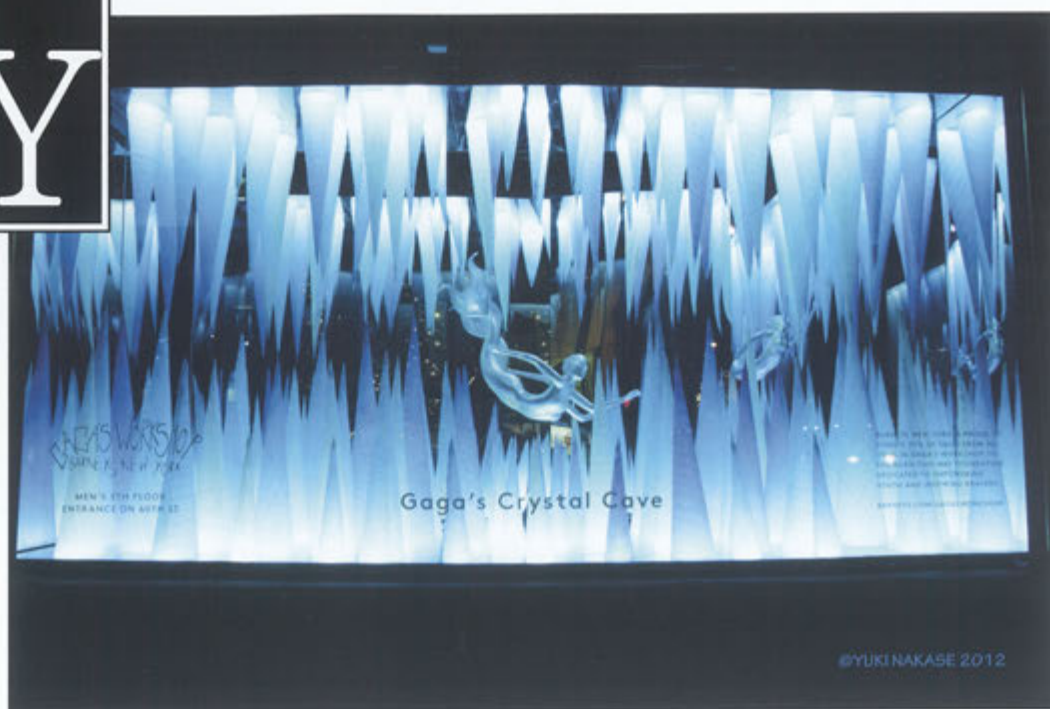


中瀬 有紀



One of the seasonal window displays for Gaga's Workshop at Barneys New York flagship on Madison Avenue was created by Lady GaGa and Nicola Formichetti.

今年の冬休みは日本に一時帰国しました。帰国後一番に向かった劇場は京都四条南座です。近年、水が非常に綺麗になった鴨川に集まる百合鷗を見ながら四条大橋を渡り、刀と扇を持ち、腰を落として踊る出雲の阿国像を左手に南座へと向かいます。吉例顔見世興行における「元禄忠臣蔵」では、天空光が雪に反射している様子を見事に再現した、非常に美しい歌舞伎の舞台照明を堪能しました。幕開きと同時に青白いひんやりした雪の空気が客席まで伝わってくるようでした。

次に向かった劇場は大阪梅田芸術劇場です。照明の仕込みを見学させていただきました。日本の照明作業は速い！アメリカと日本の照明作業で大きく異なるのは、サスのたっぱ決め、ハンガー、かいしゃく棒の3点です。多くのアメリカの照明デザイナーは、昇降設備のある劇場における照明設計の第一段階として、図面上でサスのたっぱを決定し、各器材のフォーカスと吊り位置を図面化した後、劇場で照明設計を実現します。また、ハンガーはレンチを使用して固定する形状のため手締めは不可能で、フォーカスは通常エレクトリシャンが照明器材に触れて行い、かいしゃく棒によ

日本のお正月

る公式なフォーカスは存在しません。サスのたっぱ決め、手締めのハンガー、かいしゃく棒、これらの3点が、日本の速くて臨機応変な、そして全員参加の照明作業をもたらしていると考えます。

元日は、京都観世会館の謡初式へ行きました。会場の空気を揺らす地謡、すり足のつま先の動き、屈まないと出入りできない切戸口、そして金色の扇の折り目が魅せる鋭角の美しさに心が吸い込まれました。また2日と3日は、日本テレビによる箱根駅伝の生中継です。放送終了間際、ヘリコプターに搭載されたカメラからの映像で東京スカイツリー®と東京タワーのツーショットを見たとき、2012年は震災や世界金融危機に負けない、日本の新旧が交差する新しい時代の幕開けになるのではないかと感じました。私は、先人たちが長い歴史の中で築いた日本文化に背中を押されている、そんな安心感を抱いてニューヨークに戻り、初日の今日はアルビン・エイリー・アメリカン・ダンス・シアターでの舞踊公演のリハーサルを終えたところです。照明の仕事は世界のどこにいても本当に楽しいです。